

教科名	家庭	科目名	子どもの発達と保育 (2単位)	選択相手科目	生涯スポーツ 英語表現Ⅰ 経済活動と法
使用教科書	子どもの発達と保育 (実教出版)		副教材	子どもの発達と保育ワークノート (実教出版)	

1 科目のねらい(目標)

この科目は、「家庭総合」の保育分野の学習を発展させ、乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育についての基礎的な知識や技術を学ぶ科目です。授業では技術実習を取り入れるなど実践的な学習を行います。

2 科目・授業の内容と進め方

- 1 乳幼児の発育・発達について理解し、乳幼児の生活と保育についての基礎知識や技術を身に付けることができます。
- 2 保育人形を用いた実習や手作り玩具製作をとおして具体的・実践的に乳幼児の発達や生活について学ぶことができます。
- 3 この学習を通して乳幼児への愛着が育ち、命の大切さ、どのようにしたらいきいき成長できるかについても考えることができるようになります。
- 4 将来、親となったときの育児に対する意欲が育ちます。

3 学習の方法

座学だけでなく実習が多い科目であり、特に主体的・積極的な学習態度で取り組むことが大切です。また、ワークプリントや実習作品の成果、提出期限、実習に取り組む態度や製作過程なども大切な学習課題です。

4 課題・補習について

- ・学習ノートやプリント、演習課題の点検を毎時間行います。
- ・実習については、作品の成果だけでなく、実習中の態度も大切です。

情報処理科・経営管理科 3年A・B・C・D組選択者

教科名	家庭	科目名	子どもの発達と保育（2単位）
-----	----	-----	----------------

5 年間の学習計画

月	単元名	学習内容	評価方法 (課題等)
4	第1章 子どもの発達の特性 1節 発達と乳幼児期の意義 2節 発達と保育環境 3節 児童館と発達観	・人間の発達に関心をもち、人間の発達と培う大事な時期である乳幼児期の意義・保育環境の大切さ・発達観について理解する。	授業態度 学習ノート 実技演習点 提出物 前期中間考査 前期期末考査
5			
6	第2章 子どもの発達の過程 1 子どもの発達	・乳幼児の身体の発育の特徴について詳しく知り、子どもの成長に関心を深めることができる。	
7	2 子どもの精神発達		
8	3 人間関係の発達		
9	第3章 子どもの生活 1 生活と養護	・子どもの生活と食事・衣生活と健康について理解できる。	
10	2 子どもの遊び	・幼児のおやつと工夫点を考えることができる。	
11	3 生活習慣の形成 4 健康管理と事故防止	・子どもの遊びと成長のつながりを理解できる。 ・保育者が子どもを取り巻く状況をどのように理解することが大切なのか考えることができる。	
12			授業態度 実技演習点 提出物 後期中間考査 学年末考査
1	第4章 子どもの保育 1 保育の意義と重要性	・保育使者の重要性に気付く。 ・家庭保育と集団保育の役割について理解し、新聞などを用い、家庭保育の現状と課題について考えることができる。	
2	2 家庭保育と集団保育 3 保育の方法		
	第5章 子どもの福祉 1 子どもの福祉 2 子育て支援	・児童福祉の理念や法律について理解できる。 ・家庭の力とともに社会的な支援が必要とされている背景を考えることができる。	
	学習のまとめと評価		

教科名	家庭	科目名	服飾文化 (2単位)	選択相手科目	政治・経済 数学A
使用教科書	服飾文化 (文部科学省)			副教材等	

1 科目のねらい (目標)

服飾の変遷と文化、着装などに関する知識と技術を習得させ、服飾文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を育てる。

2 科目・授業の内容と進め方

年間を通して、自分自身と家族のよりよい衣生活を実現していくために必要な知識や技術を学習します。服飾の文化や着装など知識として学習することに加え、服飾に関わる基礎的な技術を身につけ、衣生活を向上させる実践的態度を育てます。

1 服飾の変遷と文化

被服の起源や被服の基本型の代表的なものを取り上げ、着装形式の特徴、気候、風土、文化などの関わりについて学習します。また、洋服と和服の特徴を知り、その変遷について学習します。

2 着装

服飾における流行について、心理的欲求や産業界との関わり、個性の表現と服飾の関わりについて学習します。また、トータルコーディネートと社会生活上の着装マナーについても学習します。

3 服飾文化の伝承と創造

1と2の学習と関連づけ個人またはグループで、適切な課題を設定し学習します。

3 学習の方法

実験や実習が多い科目であり、特に主体的・積極的な学習態度で取り組むことが大切です。また、安全や衛生に十分留意して、学習を進めましょう。また、ワークプリントや実習作品の成果、提出期限、実習に取り組む態度や製作過程、仲間とのチームワークなども大切な学習課題です。

4 課題・補習について

- ・プリント、演習課題の点検を毎時間行います。
- ・実習については、作品の成果だけでなく、実習中の態度も大切です。

経営管理科 3年 B・C・D組選択者

教科名	家庭	科目名	服飾文化（2単位）
-----	----	-----	-----------

5 年間の学習計画

月	単 元 名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4 5	第1章 「服飾文化」を学ぶ目的と意義	<ul style="list-style-type: none"> 「服飾文化」を学ぶ目的と意義を知り、学習方法について知る。 	授業態度 プリント 作品 提出物 前期中間考査
6 7 8	第2章 日本の服飾の変遷と暮らしの背景 第3章 西洋の服飾の変遷と暮らしの背景	<ul style="list-style-type: none"> 人類の歴史の中での衣服の起源や基本形について理解し、衣服の役割について考える。 日本の服飾の移り変わりについて、その時代の社会の状況と関連させて考える。 西洋の服飾の移り変わりについて学ぶ。 	
9	ホームプロジェクトの計画、実践、発表	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を生かし、自分や家族の生活課題解決に向けた個人研究と発表会を実施する。 	
10	第4章 着ること装うこと	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活を円滑に維持し、健康で安全に暮らしていくためには、着用目的にあう被服をコーディネートしていく必要性を知る。 	授業態度 プリント 作品 提出物 後期中間考査 実技テスト (授業時間内)
11 12 1 2	第5章 服飾文化の伝統と創造	<ul style="list-style-type: none"> 前期の学習と関連づけ個人またはグループで、適切な課題を設定し学習する。 生まれてから死ぬまで、また年中行事としての服飾と関わる部分について学ぶ。 伝統文化と季節感との関わりを、学ぶ。 各地域の服飾に関わる伝統工芸を知る。 気候風土や宗教などとのバランスをとりながら、着装してきた民族衣装について知る。 1年間の学習内容を振り返り、自分自身と家族のよりよい衣生活を実現していくための考えをまとめる。 	
	学習のまとめと評価	<ul style="list-style-type: none"> 学習の成果を再確認する。 	